

平成28年度決算の概要について

1. 財務諸表

(単位：百万円)

区分	項目	H27	H28	差引
貸借対照表	資産	15,560	15,208	▲352
	負債	2,529	2,398	▲132
	純資産	13,030	12,810	▲220
	当期末処分利益	59	159	99
損益計算書	経常費用	3,122	3,183	61
	経常収益	3,091	3,259	168
	臨時損失	—	—	—
	当期純利益(損失)	▲31	76	108
	目的積立金取崩額	91	82	▲8
	当期総利益	59	159	99
収支決算	収入計	3,275	3,391	116
	支出計	3,197	3,208	12
	収支差	78	182	104

(注) 金額は単位未満を四捨五入しており、差引は必ずしも一致しない。

2. 決算の概要

- 貸借対照表は、資産、負債及び純資産を記載し、法人の財政状態を表示
(増減状況)
建物・構築物・工具器具備品等が減価償却により減となったこと等から資産が減少。
長期リース債務が前年度比38百万円減、未払金が前年度比74百万円減、寄附金債務が前年度比13百万円減等により負債が減少。
損益外減価償却累計額が県から出資を受けた固定資産の減価償却等により減となったことから純資産が減少。
- 損益計算書は、法人の運営状況を表示
(増減状況)
教育研究支援経費が減となった一方、退職者の増により人件費が増となったこと等から経常費用が増加。
運営費交付金収益が前年度退職手当分と当年度分退職手当分の増により前年度比150百万円増、特殊要因経費補助金が前年度比45百万円増等により経常収益が増加。
当期純利益は、前年度比108百万円増の76百万円。
当期総利益は、当期純利益に目的積立金取崩額82百万円を加え前年度比99百万円増の159百万円。
- 収支決算書は、法人予算に対する実績を表示
(増減状況)
運営費交付金収入の増、特殊要因経費補助金の増等により収入計が増加。
学部等設置(四大化)事業の減により施設整備費が減となった一方、退職者数の増に伴う人件費が増になったことから支出計が増加。
- 剰余金の額は、158,592千円となった。